



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international

R.I. 会長テーマ 「ロータリーのマジック」

R.I. 会長 ステファニー・A. アーテック

2024～
2025年度
テーマR.I. 2720地区テーマ 「寛容な心でロータリーの未来、
そして若者の未来を考えよう」R.I. 2720 地区 ガバナー
三村彰吾熊本G.R.C.テーマ 「ロータリーに目的を持ち
人生を豊かにしよう」

熊本グリーンRC会長 宮部康弘



■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：宮部康弘 ■幹事：河島一夫 ■会報担当：田中慎二
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

第 1560 回

2024 - 2025 年度 第 35 回

令和 7 年 5 月 19 日

【例 会】

1. 閉会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

・「奉仕の理想」(ロータエリーソング)

来訪者紹介 (宮部康弘会長)

・NPO法人トナリビト

代表理事 山下折恵 氏

友情の握手

会長挨拶 (宮部康弘会長)

皆さん、こんにちは。本日は日本で働く外国人の方々が戸惑う「日本文化の摩訶不思議」について、お話ししたいと思います。最近、コンビニの店員さんは外国人労働者が多くなってきました。そんな中で、外国人労働者の接し方について興味湧き、先日ある記事を読む機会があり、その中でこんな話がありました。中国から来たA君、新入社員として日本企業に就職し、初日の朝9時ちょうどに職場に着きました。すると上司に言われた一言。「遅い！」

——えっ、遅い？と中国出身のA君は思いました。だって就業時間は9時からと契約書に書いてあるのに…と。これが日本独特の「空気のマニュアル」と言われるらしく、日本社会では「規則」よりも「空気を読む」ことを大切にするという事でした。形に出ない「組織風土的規範」が、実は我々の社会を支配している訳です。たとえば「新入社員は先輩より早く来るべき」という暗黙の了解。紙に書いてあるわけではありませんが、これを破ると「常識のない人」とみなされてしまう。まるで「空気に従う」ことが、入社試験の第二ラウンドのようなものですね。また、日本人の会話も独特だそうです。たとえば——

Aさん：「今日は暑いですね。」

Bさん：「そうですね、暑いですね。」

このやりとり、外国人には「何の意味があるの？」と疑問を持たれるそうです。海外の人から言いと、「あれは会話じゃない」と一蹴されるそうです。でも、日本では「同調」がコミュニケーションの基本。反論よりも「協調」が大切なのです。「Yes, but…」ではなく「そうですね…のうえで…」というのが日本流。そして、あいさつも重要です。たとえ10年前にタバコを1本もらっ

グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。

というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

卓 話 予 定

- 5 / 2 6 例会前半は通常例会・後半は西里のほたる観賞会の為、場所移動の予定
- 6 / 2 熊本グリーンローターアクトクラブ 活動報告
- 6 / 9 「次年度 第2回クラブ協議会」★次年度各委員長より委員会活動計画発表

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

た程度の関係でも「その節はお世話になりました」と丁寧に礼を述べる。それが日本では「信頼の積み重ね」になります。これらの文化的特性が、時には外国人の皆さんにとって働く上で障壁となることもあるとの事でした。その人の特性を見るだけで無く、その人のバックグラウンドを見る。私たち経営者もこうした“文化の違い”を「壁」にするのではなく、相手の文化を理解して「橋」にする、という考え方がこれから大切になってくると思います。日本社会というのは、形のあるマニュアルよりも「空気」が優先される不思議な国という事を私たちは認識する必要がある事に気づいた記事でした。では、本日もよろしくお願いいたします。

幹事報告（河島一夫幹事）

■報告事項（その他のロータリー関係）
「Japan O.K.ローターアクトEクラブ創立総会並びに認証状伝達式」のご案内
日時：2025年6月15日（日）11:30～（登録開始 11:00）
場所：ホテル日航大分 オアシスタワー
3階「紅梅」の間
登録料：8,000円

<例会変更・取り止め>

●例会変更
[熊本中央 RC]
6月13日（金）の例会は、歳祝い会のため、同日18:30より「割烹火の国」にて行います。
[熊本東南 RC]
6月18日（水）の例会は、慶祝会・新旧役員交代式のため、同日18:30より「瑞恵」にて行います。
●例会取り止め
[熊本中央 RC]
6月27日（金）の例会は、定款に基づき、取り止めます。この日は、サイン受付は行いません。

[熊本東南 RC]
6月25日（水）の例会は、クラブ指定の休会のため、例会は取り止めます。

委員会報告（山下佳介スマイル担当）

「ロータリーの友」5月号内容紹介
報告者：河野景治公共イメージ委員長

出席報告（山口悦史クラブ管理運営（出席担当）

	会 員 総 数	20名	出 席 率
5月19日	出席免除会員数	0名	60.00%
	計算上会員数	20名	
	出席会員数	12名	
4月21日	前回出席会員数	12名	70.00%
	メイクアップ数	2名	
	修正出席会員数	14名	
メイクアップ済み会員及メイクアップ訪問先			
・4/6地区研修協議会 河島 会員 ・4/22 熊本グリーンローターアクト 荒木 会員			

スマイル（山下佳介スマイル担当）

●宮部康弘 君、河島一夫 君
「NPO法人トナリビト代表理事 山下折恵様のご来訪心より歓迎致します。宜しくお願い致します。」
●田上裕章 君
「タカスギの関連会社、いいねホーム創業第1号の契約が履行出来た。お客様も大変喜ばれて気分良かったのでSmile。」
●荒木一之 君、山口悦史 君
「本日はトナリビト山下様のご来訪を歓迎致します。卓話楽しみにしております。よろしくお願い致します。」
●山下佳介 君
「NPO法人トナリビト代表の山下折恵様のご来訪、心より歓迎致します。ちょうど3年前もご来訪頂きありがとうございます。」

3. 例会プログラム

紹介者： 山下佳介 会員

卓話者：

NPO法人トナリビト 代表理事 山下折恵 氏

演題：「トナリビトの活動について」



NPO法人トナリビト代表理事 山下折恵 氏

4. 閉会・点鐘

例会終了後「次年度 理事役員家庭集会」開催



1 奨学生の第一歩 全国各地でオリエンテーション開催

新学期の始まりとともに、新たな米山奨学生たちが第一歩を踏み出しました。全国各地で実施されているオリエンテーションの中から、今回は第2800地区(山形)の様子をご紹介します。



4月5日、山形市内のホテルにて、「2025学年度米山奨学生オリエンテーション・カウンセラー説明会」が開催されました。出席した奨学生たちは、同地区の芳賀康雄ガバナーの挨拶の後、確約書などの書類に署名をし、正式に米山奨学生となりました。「米山奨学生・カウンセラースピーチ」では、奨学生た

ちが緊張しながらも自らの夢、奨学生となった喜び、今後の目標を発表。また、新任のカウンセラーたちからは、「他のロータリー会員と協力しながら、温かく、そして前向きな気持ちで奨学生たちを支えていきたい」といった意気込みが述べられました。

最後に同地区米山学友会について、会長のドアン ミン ハオさん(2022-23/山形西 RC)から活動を紹介。卒業後のつながりの大切さなどについて、先輩としての経験を伝えました。全体を通じて奨学生とロータリー会員が和やかに 交流を深め、心温まる時間となったそうです。

2 博士号取得状況

2024-25 学年度に博士号取得の報告があった奨学生は 34 人、学友は 22 人、これまでの累計は4,205人となりました(5月13日現在)。米山記念奨学会では、博士号を取得した奨学生・学友へお祝いの腕時計を贈呈しています。裏ぶたに氏名を刻印した世界に一つだけの腕時計です。クラブ会員の皆さまに成果を報告するため、原則としてクラブ例会にて贈呈していただいております。それが学友との交流再開のきっかけになった、という報告をいただくことがあります。博士号を取得した奨学生・学友がいましたら、当財団事務局へご報告ください。

【申請方法】

・ 奨学期間終了後の取得でも対象です

・ お届け先は、原則として世話クラブです(納品まで約 2~3 週間かかります)



文字盤の裏に氏名を刻印

「学位記の写し」もしくは「学位取得証明書」と、当財団書式「博士号取得 報告書」の2点を世話クラブから米山奨学会へメールや FAX などで送信

FAX:03-3578-8281

E-mail: alumni@rotary-yoneyama.or.jp

3 寄付金速報 — 今年度も残り1カ月半 —

前年同期比

-8.3%

普 -1.2% 特 -11.5%

4月末までの寄付金は前年同期と比べて8.3%減（普通寄付金:1.2%減、特別寄付金:11.5%減）、約1億560万円の減少とな

りました。4月の寄付額では過去5年間で最も多くのご寄付をいただきました。また、創立記念寄付として15のクラブから計205万円の特別寄付があり、回復の兆しも見えています。今年度もあと1カ月半、引き続き当事業へご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

4 自らの声で感謝と想いを伝える機会に

4月29日、第2790地区クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーが千葉市内で開催され、同地区学友会副会長のグエン ビン ヌーさん（2023-25/成田空港南RC）と現役奨学生のイトゥエン ピアさん（2024-26/千葉南RC）が出席しました。ロータリー会員に向けて、米山奨学生・学友として得られた学び、気づき、そして学友会活動の意義や魅力を紹介する目的で出席したそうです。



挨拶をするピアさん(中央)とヌーさん(右)

当日は、実体験に基づき奨学生時代の経験を発表。また、学友会活動の紹介として、2025年1月にベトナム・ダクラク省にあるレ ホン フォン小学校で行った「IT教室支援プロジェクト」について紹介。ヌーさんの世話クラブである成田空港南RCの協力を受け、現地の子どもたちの学習環境の改善を目的に、コンピューターやモニターなどを寄贈した奉仕活動とその成



ベトナムの小学校へモニターを寄贈

果を発表しました。その他、学友会活動を通して得た経験や学びを後輩たちに伝え、ロータリーの奉仕の精神を未来へつなげていきたい、という想いを語りました。発表後、「自分も留学の経験があって、当時の気持ちを思い出しました」「本当に頑張っていますね」といった声をもらい、直接ロータリー会員に自分の声で感謝や想いを伝えるすばらしい機会になったそうです。

ヌーさんは、「会員の皆さまからもお話を聞くことができ、互いの理解が深まりました。国籍や世代が違って、『誰かのために行動したい』という気持ちは共通していて、大きな励みになりました。こうした機会を通じて、米山学友会とロータリー会員のつながりが深まり、米山奨学事業の価値がさらに高まっていくと信じています」と語りました。

第2660地区米山学友会 創立40周年記念式典 「米山絆の歩みを振り返り、未来を築く」 開催のご案内

設立40周年記念式典&総会が開催されます

詳細・申込はこちら

■記念式典&総会

2025年7月6日(日) 16:00~20:30
シェラトン都ホテル大阪 4階浪速の間

■EXPO2025 大阪・関西万博 米山ツアー

2025年7月7日(月)



※申込期限は6月20日(金)まで※